

（毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十四日發行）

縣報 第百九十五號

明治卅六年四月十八日 和歌山縣

公文

○和歌山縣訓令第百十六號

郡役所 市役所

本年海軍志願兵志願者検査日副左ノ通り夏セラレ候條夫々指定ノ日時ニ於テ選擇ナク検査場ニ出席スヘキ様進スヘシ

明治三十六年四月十四日

和歌山縣知事 藤 基一郎

検査日	検査區分	検査場	志願者	所在地
五月三日	東本妻郡那智村天籟小學校	東本妻郡	十二名	計 十三名
全 六日	西本妻郡役所内	西本妻郡	十九名	
全 八日	日高郡役所内	日高郡 有田郡	十名 七名	計 十七名

縣報第百九十五號 明治三十六年四月十八日 第三號郵便物認可

全 十一日	和歌山市役所内	和歌山市 御草郡	十一名 二十九名	計 四十名
全 十二日	全	御草郡	四十名	
全 十三日	全	御草郡	二十名	（和歌山市御草郡今後追願者ヲアツテ此日検査ス）
全 十四日	那智郡那智河内町寺内十拜 律院	那智郡 伊都郡	二十四名 四名	計 二十八名

備考 検査開始時刻ハ朝野町ノ分ハ午前十時其他ハ午前九時トス

○和歌山縣告示第三百三十三號

左記ノ者本縣師範學校本科課程卒業ニ付小學校本科正教員免許狀ヲ授與セリ

和歌山縣平民

阪上

藤太郎

明治三十六年四月十三日

和歌山縣知事

藤 基一郎

○和歌山縣告示第三百三十四號

明治三十三年一月農商務省告示第七號水産講習所傳習規程及水産講習所傳習規程(明治三十三年三月廿八日)ニ據リ水産講習所本務并ニ現業科生徒募集相成候付志願者ハ左記事項相心得官報所載

當廳ヲ經テ出願スヘ

明治三十六年四月十三日

和歌山縣知事

藤 基一郎

一 募集人員

科 五十名(漁撈科、製造科各二十名)

(養殖科十名)

現業科 十五名(維持傳習、油蠟及沃度傳習)

(經銷其他諸類傳習各五名)

一 入學願書提出期日

現業科諸類ハ本年五月十日限リ其他ハ同月末日限リ昨年一ト以降自己一人攝影シタル

報號百九十五號

明治三十六年四月十八日

和歌山縣知事

藤 基一郎

手札形寫真營業ヲ添ヘ差出スヘ

一 現業科修業期限

四ヶ月間

維持、魚蠟及沃度九月十五日ヨリ經銷其他諸類六月十五日ヨリ各

○和歌山縣告示第百二十五號

明治三十六年四月十三日左記漁業組合ノ設置ヲ認可セリ

明治三十六年四月十三日

和歌山縣知事

藤 基一郎

一名 稻

目耳浦漁業組合

一區 城

和歌山縣西本雲郡目耳浦

全縣全郡西ノ谷村字目耳千五百六十五番地

○和歌山縣告示第百三十六號

東京府豊島郡志村役場客月二十八日火災ニ罹リ帳簿書類悉皆焼失ニ歸シタルヲ以テ焼失以前該役場ニ對シ照會書類等ノ件ニシテ應答未済ノモノハ來ル五月三十一日迄ニ更ニ其手續ヲナスヘキ様同府ヨリ通知アリタリ

明治三十六年四月十四日

和歌山縣知事

藤 基一郎

○和歌山縣告示第百三十七號

左記保安林解除セラルル旨農商務大臣ヨリ通知アリ

明治三十六年四月十四日

和歌山縣知事

藤 基一郎

紀伊國東牟婁郡下里村大字粉白字口地六百八十七番

一若宮社有保安林七畝拾四步

○和歌山縣告示第百三十八號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林解除セシ旨農商務大臣ヨリ通告アリ

明治三十六年四月十四日

和歌山縣知事 梅 基 一 郎

國	郡	村	大字	字	地番	地目	面積	所有者	申請者
紀伊	海草	雜賀	宇須	西ノ坪	三九	山林	六反貳畝廿七步	和歌山市 嵯谷敬之	和歌山市 嵯谷敬之

○和歌山縣告示第百三十九號

明治三十六年四月十四日左記農業者組合ノ設置ヲ認可セリ

明治三十六年四月十四日

和歌山縣知事 梅 基 一 郎

農業者組合
和歌山縣東牟婁郡那智村
今縣全部全村四百七拾八番地

○和歌山縣告示第百四十號

明治三十六年四月十四日左記農業者組合ノ設置ヲ認可セリ

明治三十六年四月十四日

和歌山縣知事 梅 基 一 郎

縣報第百九十五號

明治三十六年四月十八日

第三種郵便物認可

三

一名 郡

一區 城

一事務所位置

○和歌山縣告示第百四十一號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林解除セシ旨農商務大臣ヨリ通告アリ

明治三十六年四月十四日

和歌山縣知事 梅 基 一 郎

國	郡	町村	大字	字	地番	地目	面積	所有者	申請者
紀伊	東牟婁	色川	口色川	小麥	三九三	山林	十二町一反八畝十八步	東牟婁郡 色川村	色川村長

全	全	下里	下里	尾敷	三二七	全	九畝十三步	全郡下里村 八幡神社	下里村 八幡神社
---	---	----	----	----	-----	---	-------	---------------	-------------

全	全	那智	橋ノ川	立花木	四三	全	三反一畝三步	全郡那智村 諏訪神社	那智村 諏訪神社
---	---	----	-----	-----	----	---	--------	---------------	-------------

○和歌山縣告示第百四十二號

本縣林業講習會規則左ノ通相定ム

明治三十六年四月十四日

和歌山縣知事 梅 基 一 郎

林業講習會規則

第一條 本會ハ林業ノ改良發達ヲ圖ラシメカ爲メ林業ニ關スル學理ヲ授ケルモノトス
第二條 本會ハ毎郡ニ各講習所ヲ開設ス
第三條 本會ノ講習期ハ一箇所ニ通開以內トシ本縣林業巡回教師ヲ以テ講師ニ充ツ
第四條 講習科目ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 造林學

二 森林保護論

三 森林利用法

四 測樹法一般

五 森林測量術

前項ノ科目ハ開設地ノ情況ニ依リ追加又ハ變更ヲ爲スニトアルヘシ

第五條 左ノ要件ヲ具備スルニアラザレハ講習生ト爲ル事ヲ得ス

一、 年齢滿十五年以上ノ男子ニシテ現今林業ニ從事シ若クハ將來從事スヘキモノ

二、 高等小學第二年課程ヲ修了シ若クハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ

第六條 講習ヲ受ケントスル者ハ開期二十日前ニ開會場所管郡長ニ願出許可ヲ受ケヘシ
但シ時宜ニヨリ人員ヲ制限スルコトアルベシ

第七條 講習科目全部ヲ修了シタルモノニハ講習證書ヲ授與ス

第八條 講習生ニシテ講習ノ妨害トナルヘキ行爲アリト認ムルトキハ退會ヲ命令スルコト

縣報第百九十五號

明治三十六年四月十八日

第三種郵便物認可

四

アルベシ

第九條 講習生各自ニ關スル費用ハ自辨トス

第十條 講習會ノ位置及開期并ニ講習生心得ハ別ニ之ヲ定ム

○和歌山縣告示第百四十三號

明治三十六年四月十五日 左記漁業組合ノ設置ヲ認可セリ

明治三十六年四月十五日

和歌山縣知事

椿 素 一 郎

一名 稻

古座漁業組合

一區 域

和歌山縣東牟婁郡古座町大字古座

全縣全郡全村大字全七拾七番地

○和歌山縣告示第百四十四號

兵庫縣ニ於テ左ノ通り慶實養老館ノ旨通知アリタリ

明治三十六年四月十五日

和歌山縣知事

椿 素 一 郎

三月二十七日發病全二十九日斃死

一朝來郡與布土村ノ内追間村

北牛一頭

三月二十九日發病

一朝來郡竹田村ノ内奥村

北牛一頭

○和歌山縣告示第百四十五號

明治卅五年十二月本縣告示第百四十四號中歐疫豫防ニ關スル大阪府令第九十六號ハ客月卅日

應止セザル旨通知アリ

明治卅六年四月十五日

○和歌山縣告示第四百十六號

流行性高口瘡除防區域解除ニ付左記縣令發布ノ旨香川縣ニリ通知アリ(本年一月本縣告示第七號)

明治三十六年四月十五日

和歌山縣知事 藤 義一郎

香川縣令第十八號

明治三十五年(十二月)本縣令第六十五號並ニ七十號流行性高口瘡除防區域ニ關スル件本日限リ廢止ス

明治三十六年三月三十一日

香川縣知事 小野田 元照

○和歌山縣告示第四百十七號

左記狩獵免狀遺失ノ旨届出タリ

明治三十六年四月拾五日

和歌山縣知事 藤 義一郎

和歌山縣日高郡東内原村大宇原谷

六百三拾三番地平民農

明治八年三月生

一乙種參等狩獵免狀第一〇一六號

縣報第九十五號

明治三十六年四月十八日

第三種郵便物認可

五

明治三拾五年拾二月拾貳日下付
右明治三拾六年四月七日日高郡白新村山野ニ田圃中遺失アリ

○觀測

明治三十六年四月十三日ヨリ三日間當地氣象概況

種別	四月 十三日		四月 十四日		四月 十五日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六四純一	七七二純七	七六六純二	七七〇純一	七六四純五	七六二純六
平均氣溫	七度九	一二度二	一〇度二	一七度八	一〇度七	一八度九
最高氣溫	一四度二	一八度八	一六度二	二二度〇	一四度九	二二度〇
最低氣溫	一度〇	三度一	二度〇	一四度七	五度九	一五度〇
最多風向	北東	北東	西南西	南	西	南
平均風力	三米七	三米四	四米一	五米四	二米五	九米四
天候	晴	晴	快晴	晴	晴	晴

